

行政事業レビューシート (文部科学省)						
予算事業名	国際競技力の向上のための施設整備に必要な経費		事業開始年度	平成21年度		作成責任者
担当部局庁	スポーツ・青少年局		担当課室	競技スポーツ課		競技スポーツ課長 芦立 訓
会計区分	一般会計		上位政策	我が国の国際競技力の向上		
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	—		関係する計 画、通知等	スポーツ振興基本計画 (平成12年9月文部大臣告示、平成18年9月改定)		
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度 以内)	トップレベル競技者の強化のためのトレーニング拠点であるナショナルトレーニングセンター(以下、「NTC」という。)を整備推進し、国際競技力の向上を図る。					
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	NTCを拠点とするエリートアカデミー生や専任コーチ等が長期滞在できる宿泊施設の整備を含め、平成21年度から2カ年計画により、現行の宿泊施設(以下、「アスリートヴィレッジ」という。)を拡充する。(250人規模→450人規模)					
実施状況	アスリートヴィレッジ増築工事にかかる、設計・監理業務、敷地地盤調査、建築工事について、契約を行った。建築工事は、平成22年1月末から始まり、平成23年3月末の完成を予定している。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	—	—	1,704	1,635	0
	執行額	—	—	160		
	執行率	—	—	9.4%		
	総事業費(執行ベース)	—	—	160		
自己点検	支出先・ 用途の把握水準・ 状況	工事業者が実施する総合図説明会等の各種説明会に参加し、工事内容の確認や進捗状況の把握を行っている。				
	見直しの 余地	設計段階における仕様変更により、工事着手までに時間を要したため多額の繰越しが生じたが、平成22年度中に工事は完了する予定。				
予算 監 視 の 効 率 化	この事業は、北区西が丘のナショナルトレーニングセンターアスリートビル増築工事であり、平成21年度から2カ年にわたり計画的な整備が進められており、平成22年度中に竣工予定である。					
補 記	(明許繰越額) 施設施工庁費:19百万円 施設整備費:1,525百万円 (不用額) 0円 本事業は、21年度、22年度の2カ年での整備を予定しており、22年度限りで終了予定。					

文部科学省
1,704百万円

施設施工庁費：1百万円
施設施工庁費明許繰越額：19百万円
施設整備費明許繰越額：1,525百万円 } を含む

〔 NTCを拠点とするエリートアカデミー生や専任コーチ等が長期滞在できる
宿泊施設の整備を含め、現行の宿泊施設を拡充する。(250人規模→450人規模) 〕

〔公募・請負〕

〔公募・請負〕

A. 飛島建設(株)
76百万円

B. (株)石本建築事務所
83百万円

〔アスリートヴィレッジ増築に係る建築
工事を行う。〕

〔アスリートヴィレッジ増築に係る設計・工事監
理業務を行う。〕

資金の流れ
(資金の受け取
り先が何を行っ
ているかについ
て補足する)
(単位:百万円)

A.飛鳥建設(株)			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
工事費	アスリートウィレッジ増築に係る建築工事	76			
計		76	計		0
B.(株)石本建築事務所			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
設計費	アスリートウィレッジ増築に係る設計業務	77			
監理費	アスリートウィレッジ増築に係る工事監理業務	6			
計		83	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)